

# 風の環 3.11絆プロジェクト

KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

『京都マラソン2014・おこしやす広場、おつかれさま広場』における取組

## 取組報告書

2014年3月14日



### ■取組概要

- 取組名称/風の環3.11 絆プロジェクト『京都マラソン2014・おこしやす広場、おつかれさま広場』における取組
- 取組会場/みやこめっせ3階第3展示場、京都マラソン2014ランナー受付会場・おこしやす広場（14、15日）・おつかれさま広場（16日）・「東日本大震災復興支援特別展示ブース」内・「鎮魂と追悼のモニュメント展示」コーナー
- 取組期間/2014年2月14日（金）～15日（土）・10:30～19:30 / 2月16日（日）・11:30～16:30 / 設営2月13日（木）・10:00～19:00 / 撤収2月16日（日）16:30～18:00
- 主催（京都マラソン2014）：京都市、一般財団法人京都陸上競技協会
- 後援：一般社団法人「風の環」
- 協力：ガトーフェスタ ハラダ、三菱電機株式会社、椋山女子学園大学 榎窪研究室（順不同 敬称略）
- 取組内容  
「鎮魂と追悼のモニュメント展示」コーナーにおけるプロジェクトの説明及び募金・署名に関するボランティア活動
- 「鎮魂と追悼のモニュメント」（「CIRCLE WIND 2011」ー絆ー《東日本大震災3.11慰霊モニュメント1/4ファーストイメージモデル》26×80×高さ64cm）展示

○「鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」、「風の環 3.11絆プロジェクト」、武藤順九と「風の環プロジェクト」解説パネル展示

○募金活動（ボランティアスタッフによる）

○署名活動（ボランティアスタッフによる）

○活動成果

・2月14日（金）/寄付 ¥45,386 /署名 114名

・2月15日（土）/寄付 ¥217,410 /署名 722名

・2月16日（日）/寄付 ¥15,253 /署名 75名

【3日間総計】

・寄付 ¥278,049

・署名 911名

・署名内訳

北海道7名、宮城県6名、山形県1名、福島県5名、東京都64名、神奈川県39名、千葉県19名、埼玉県13名、茨城県7名、栃木県1名、群馬県1名、愛知県48名、岐阜県16名、静岡県11名、三重県14名、富山県11名、福井県5名、石川県2名、新潟県2名、京都府246名、大阪府131名、兵庫県80名、滋賀県36名、奈良県18名、和歌山県9名、徳島県15名、愛媛県3名、香川県1名、高知県1名、広島県11名、鳥取県7名、岡山県5名、島根県1名、福岡県6名、宮崎県4名、鹿児島県3名、佐賀県1名、長崎県1名、お名前のみ51名、香港1名、台湾5名、海外お名前のみ3名

### ■東日本大震災復興支援イベント（DVD資料あり）

○プログラム（2月14日/16:00～16:45）

・森清範清水寺貫主による「絆」の揮毫（福島・宮城・岩手三県人会の希望により実現）

・鎮魂と追悼のモニュメントに込められた思い

～風の環 3.11絆プロジェクト～

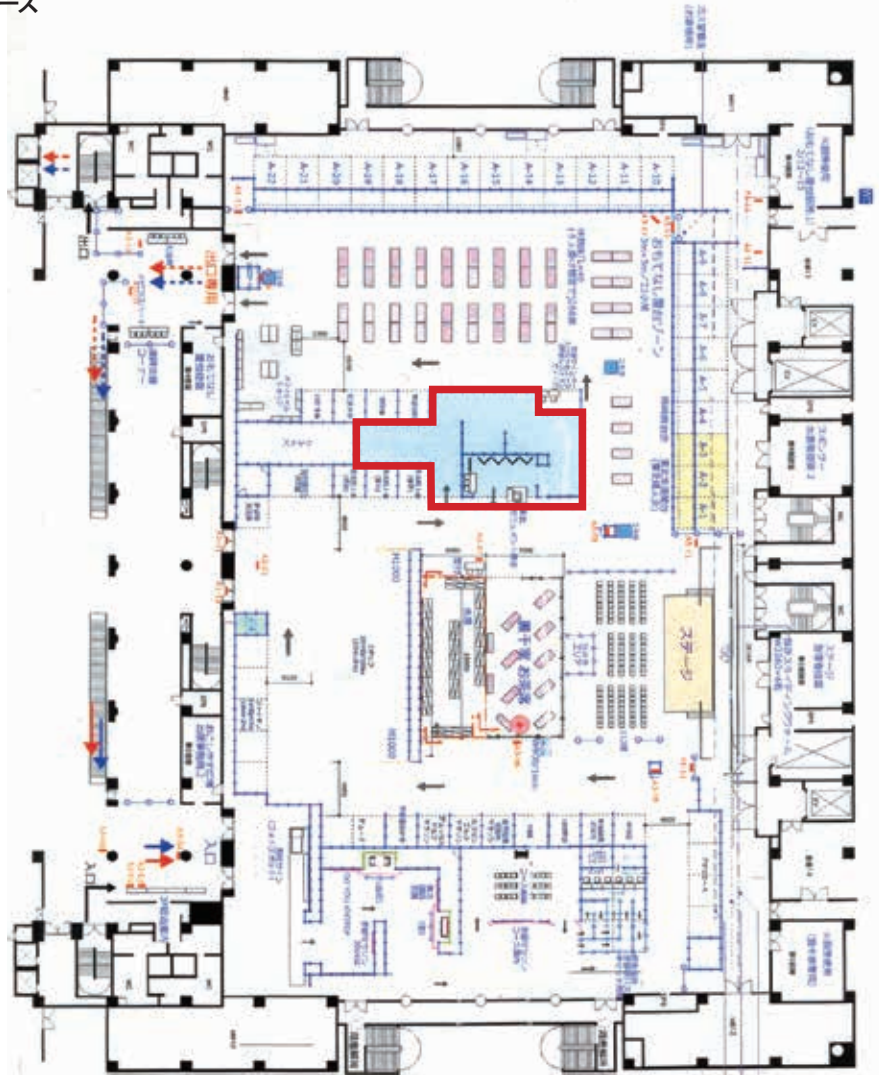
出演者：彫刻家・武藤順九氏

・座談会「復興に向けて、今できること」

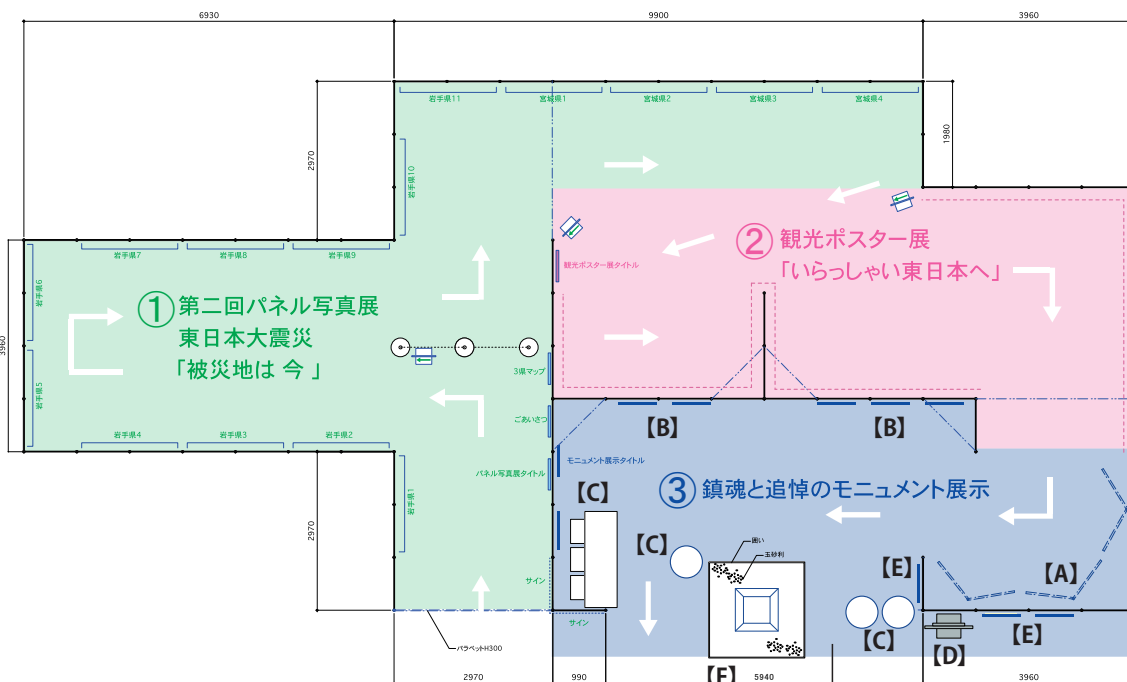
出演者：門川大作京都市長、森清範清水寺貫主、武藤順九氏、風の環 3.11絆プロジェクト実行委員長・尾池和夫氏（京都造形芸術大学学長）

■東日本大震災復興支援特別展示ブース

・みやこめっせ3階



・ブース内展示コーナー区分け



風の環 3.11 絆プロジェクト  
活動エリア

### ①「パネル写真展 東日本大震災『被災地は今』」

(岩手・宮城・福島・三県人会)



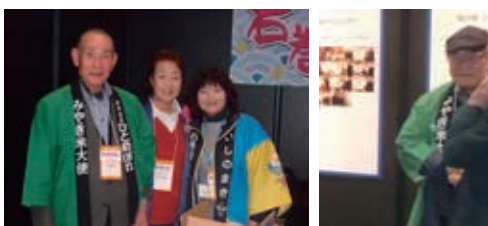
「被災直後」、「復興」、「今」、を比較した写真展示

### ②「観光ポスター展『いらっしやい東日本へ』」

(岩手・宮城・福島・三県人会)



四季を彩った美しい観光ポスター展示



県人会の皆さま

### ③「鎮魂と追悼のモニュメント」展示

(風の環 3.11絆プロジェクト)



京都市支援のもと、岩手・宮城・福島・三県人会さまのご協力により、東日本大震災復興支援特別展示ブース内に「鎮魂と追悼のモニュメント」展示コーナーを設けていただき、今回の取組が実現しました。



「観光ポスター展」コーナーから見た様子

#### 【A】「風の環プロジェクト」パネル展示

「観光ポスター展」との境界スペースを活用し、武藤順九氏が世界に設置してきた「風の環」シリーズの写真パネルを展示。



## 【B】プロジェクト解説パネル展示

「鎮魂と追悼のモニュメント」建立に向けてのプロジェクト発足の経緯などをパネル展示しました。

1. 国立京都国際会館でのモニュメント初披露を紹介
2. 「鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」紹介
3. 武藤順九と「風の環プロジェクト」紹介
4. 「風の環 3.11絆プロジェクト」趣意書紹介
5. プロジェクト概要紹介



## 【C】募金・署名活動

ボランティアスタッフの協力のもと、写真展への誘導、プロジェクト紹介のパンフレット配布、募金活動、趣旨に賛同し、ご支援いただいた皆さまのお名前をモニュメントとともにタイムカプセルに納め、後世に残していく署名活動を行いました。



写真展へ誘導するボランティアスタッフ



募金・署名活動の様子



募金箱と署名用紙



署名テーブル（署名用紙、プロジェクトパンフレット、署名趣旨、プロジェクトメールアドレス入力用 QR コード）



受付カウンター（募金箱、署名用紙、パンフレット、サポーター受付）

## 【D】映像コーナー

三菱電機株式会社さまから40インチモニターREALをご提供いただき、設置までご協力いただきました。映像コンテンツの撮影・編集は、椋山女学園大学 柗窪研究室さまからご提供いただきました ([http://www.youtube.com/watch?v=P7jM\\_iANNBA](http://www.youtube.com/watch?v=P7jM_iANNBA))。



**[E] 「風の環 3.11絆プロジェクト」パネルコーナー**

「風の環 3.11絆プロジェクト」実行委員会、発起人の紹介、応援者の写真展示をはじめ、ご来場者のメッセージを残せるボードを準備しました。

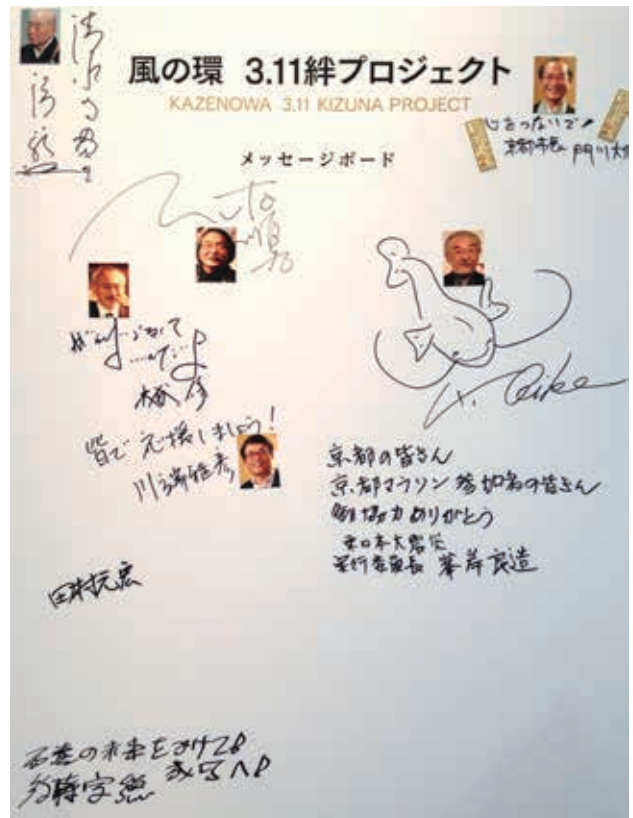
- ・メッセージボード
- ・応援者写真ボード
- ・発起人一覧
- ・趣意書



応援メッセージ書き込みコーナー



門川大作京都市長、森清範清水寺貫主、水谷修氏をはじめ、ご来場いただいた皆さまにメッセージを残していただきました。



書き込まれたメッセージボード



応援してくださる皆さまとの記念写真を掲示できる写真ボード

## 【F】鎮魂と追悼のモニュメント展示

京都市の会場プランニングにより、写真展ブースの出口中央に、360度鑑賞可能で、ステージからも見ることができる最高の位置に設置されました。2月14日に行われたステージイベント時には、株式会社凜さまご協力のもと、ボランティアスタッフが力を合わせ、モニュメントをステージ上へ移動しました。



「CIRCLE WIND 2011」一絆—  
《東日本大震災3.11慰霊モニュメント1/4ファーストイメージモデル》  
26×80×高さ64cm



イベントステージに準備されたモニュメント



イベントを終え、ステージから展示コーナーにモニュメントを戻している様子

## ■ 東日本大震災復興支援イベント

【第1部】 森清範清水寺貫主による「絆」の揮毫  
(岩手・宮城・福島三県人会さまのご依頼で実現。)



【第2部】 〈鎮魂と追悼のモニュメントに込められた思い  
～風の環 3.11絆プロジェクト～〉

出演者：彫刻家・武藤順九氏

モニュメント製作者である武藤順九氏が、被災地での体験を通し、込められた思いを話されました。



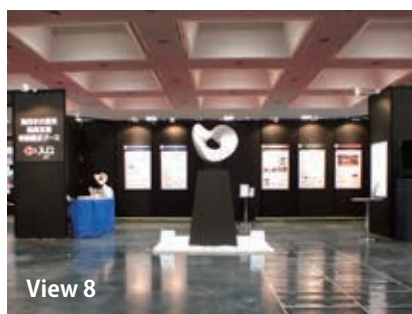
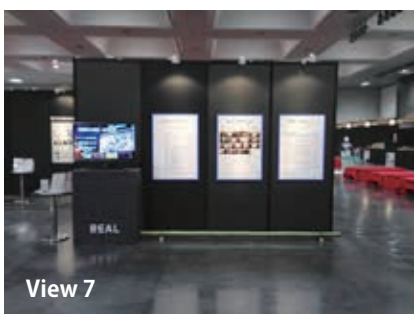
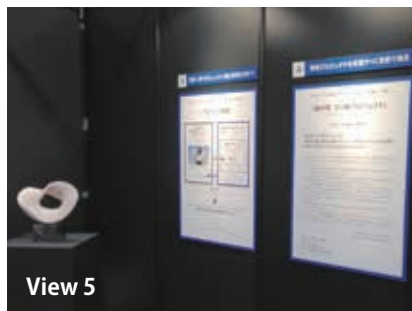
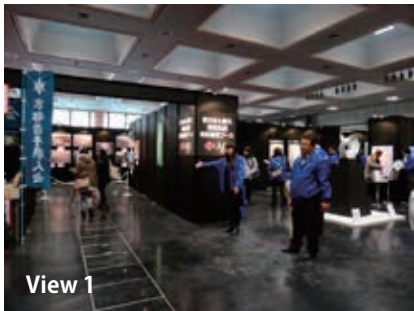
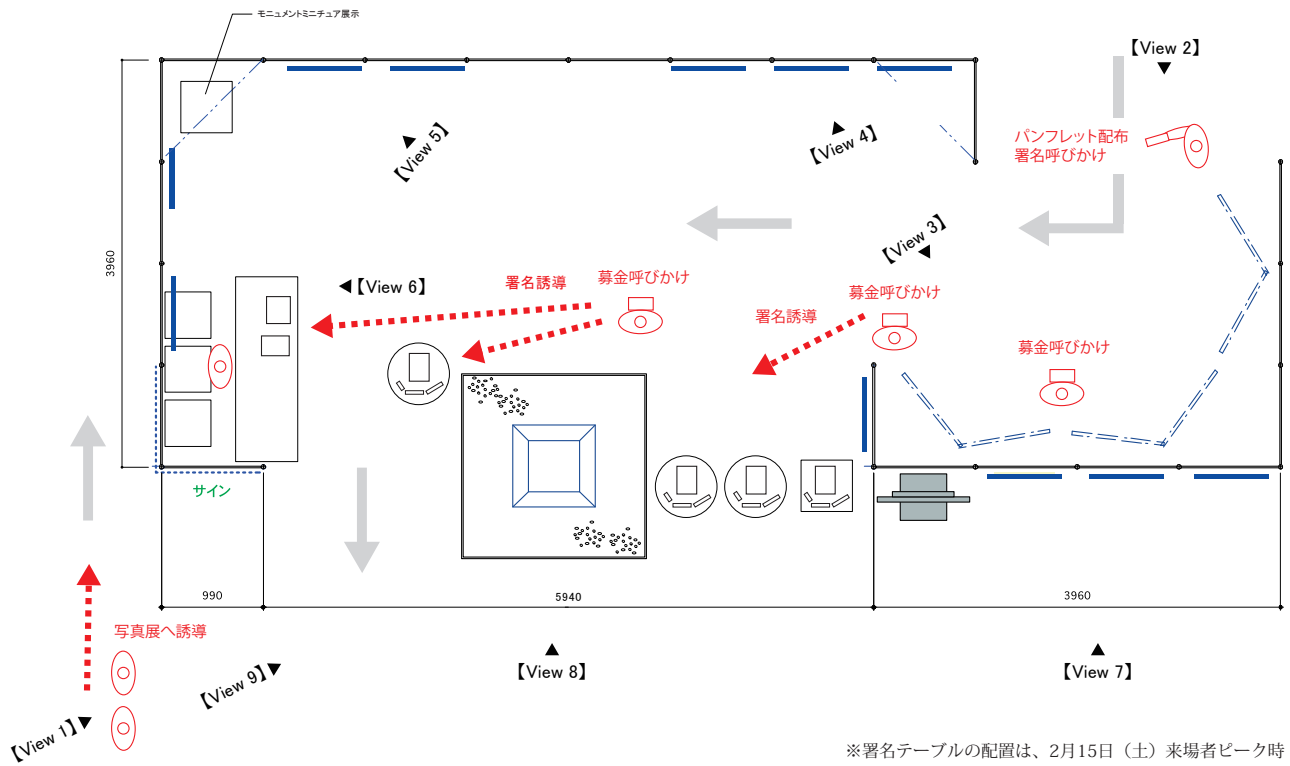
【第3部】 〈座談会「復興に向けて、今できること」〉

出演者：門川大作京都市長、森清範清水寺貫主、武藤順九氏、  
風の環 3.11絆プロジェクト実行委員長・尾池和夫氏（京都造形  
芸術大学学長）

復興に向けて今、何ができるのか、それぞれの立場からの見解を  
お話されました。



■「鎮魂と追悼のモニュメント展示」コーナー レイアウト



# 1

## 2012年3月 京都にてモニュメント初披露

80 × 1030mm パネル

2012年3月 東日本大震災3.11慰霊モニュメント発表

### 国立京都国際会館 プロジェクトの始まり



#### COP3京都議定書15周年プロジェクト『光・水・風』～ 3.11 復興への祈り～

人と自然の営みを考えることをテーマに、COP3京都議定書15周年プロジェクト『光・水・風』～3.11復興への祈り～と題し、尾池和夫氏を実行委員長とする、光・水・風 実行委員会が発足し、京都府、京都市をはじめとする後援団体、また協賛企業の協力を得て、2012年3月20日～5月13日にかけて、武藤順九氏の彫刻展示、芸術、医療、科学をテーマにしたフォーラムなどが、国立京都国際会館で開催されました。

その折、「東日本大震災3.11慰霊モニュメント準備委員会」(現「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」)から、武藤順九氏が東日本大震災3.11慰霊モニュメントの製作を正式に依頼されました。

#### 京 都のみなさまへ

東日本大震災 3.11 慰霊モニュメント  
慰霊平和パーク設立プロジェクト(仮称)



私たちは、あの東日本大震災で犠牲になった人たちに哀悼の意を捧げ、鎮魂する慰霊碑の設置を計画してきました。そのような折、私たちとおなじ思いをもつ被災地(仙台)出身の世界的彫刻家・武藤順九氏の賛同を得、東日本大震災3.11慰霊モニュメント計画を推し進めることになりました。

この度、2012年3月20日から開催される、COP3京都議定書15周年プロジェクト「光・水・風」のシンボルともいえる「武藤順九の宇宙」彫刻展で、「風の環 2011」東日本大震災3.11 慰霊モニュメント1/3および1/4イメージモデル(大理石彫刻)が公開されることになりました。京都を皮切りに、全国各地を巡回し、多くの方々の賛同をいただくとともに、その後、被災地のしかるべき場所に、慰霊モニュメントを設置、慰霊平和パークを完成させる予定です。

このような素晴らしい機会をご用意いただいた光・水・風 実行委員会、並びに武藤順九氏のご好意に心から感謝を申しあげ、慰霊平和パーク設立に結実できるよう取り組んでまいります。

東日本大震災3.11慰霊モニュメント準備委員会(仙台)

現「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」  
『光・水・風』～3.11 復興への祈り～「武藤順九の宇宙 ～風の環 2012 in 国立京都国際会館, KYOTO」モニュメント発表時 趣意書より



# 2 2013年3月 宮城県にて設立

80 × 1030mm パネル

2013年3月 宮城県で立ち上がった官民一体のプロジェクト

## 「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント 建立プロジェクト」

### 未来への希望の象徴としてのモニュメントを

東日本大震災から早2年が過ぎようとしています。未曾有の大災害に襲われた被災地では、様々な課題と問題を内包しながらも国を挙げての復旧、そして復興へと大きな力が注がれ続けていると日々、実感しております。

しかし、復興庁の発表によれば全国の避難者等の数は約32万1千人、宮城県では11万2千人あまりの方が未だに仮設住宅などでの生活を余儀なくされ、福島原発事故によって県外での避難生活を強いられている方も数多くおられます。

そうした現実の中、官民が協力しながら被災地の生活基盤を取り戻そうとインフラ事業に手を尽くしているわけです。

今、私たちが取り組もうとしているのは、人々の「こころ」と「暮らし」に焦点をあてた「鎮魂と追悼のモニュメント」の建立です。

喪った近親者への「鎮魂と追悼」の拠り所として、また、すべての人が訪れて手を合わせ祈りを捧げ、哀悼の思いを積み上げていく場所として、「鎮魂と追悼のモニュメント」を建立することは、災害の風化を防ぎ、未来へ向かっていくための希望の象徴となり得ることを確信しております。

### 製作と完成後の展開

モニュメントの製作は、世界有数の聖地に作品を永久設置してきた数々の実績を持ち、宮城県出身で「みやぎ絆大使」でもある世界的な彫刻家の武藤順九氏に依頼します。

完成後は宮城県庁のエントランスなどに一時的に設置し(予定)、将来的に震災の資料館や慰霊公園、メモリアルパークなどが建設された場合には、宮城県や石巻市などの行政機関へと管理を委譲できるように前提で運営を行っていきたいと考えております。

(2013年プロジェクト設立時、現地パンフレットより抜粋)

【2013年3月1日 設立総会 新聞記事】



【設立総会 新聞記事】



【プロジェクト 新聞記事】



【「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」役員 (2013年設立時)】

会長	高橋 昭三	株式会社 藤崎
副会長 人事	一力 雅彦	株式会社 河北新報社
	亀井 文行	カメイ株式会社
顧問	高橋 宏明	社団法人 東北経済連合会 (東北電力)
	鎌田 宏	仙台精工金庫所 (第七十七銀行)
	大山 健太郎	仙台経済同友会 (アイリスオーヤマ)
	西井 弘	弘道館株式会社
実行委員長	榎岸 良徳	株式会社 一条工務店 宮城
副実行委員長	田中 昌志	株式会社 藤崎
	中山 勝久	株式会社 河北新報社
	山田 正行	株式会社 七十七銀行
	松澤 伸介	東北高麗株式会社
	大友 清之	アイリスオーヤマ 株式会社
	角川 康博	学校法人 角川学園
監事	松坂 英明	松坂法律事務所
事務局長	菅原 裕典	株式会社 清月記

# 3

## モニュメント製作者 武藤順九氏とは

80 × 1030mm パネル

宮城県出身、イタリアと京都を拠点に活動する世界的彫刻家

### 武藤順九と「風の環プロジェクト」

#### The World of Junkyu Muto

大自然の営為が造りだした大理石と向きあい、独自の境地を切り拓く画家・彫刻家の武藤順九。ローマ近郊のアトリエ、トスカーナ州ピエトラサンタ、そして近年は京都にも拠点を置いて、世界平和と人類の共生を希求し、大理石彫刻「風の環」シリーズの創作と発表を通じ「いのちの尊さ」を訴え続けています。その営みは、バチカン、インド・ブッダガヤ、アメリカ・デビルズタワーなど世界有数の聖地に作品が永久設置されるという成果に結実し、日本でも各地で多くの感動を誘い、共感の環をひろげて、人間愛に根ざした世界平和への意義をアピールしてきました。近い将来、ニューヨーク9.11慰霊モニュメントとして設置予定の大理石作品は、すでに2011年9月、ニューヨーク市のジャパン・ソサエティーでプレ展示を果たし、大きな反響を呼びました。

2012年、国立京都国際会館・庭園に21点の作品を展示した際、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」から、3.11東日本大震災の慰霊モニュメント製作の依頼を受け、被災地のしかるべき場所への設置計画に向けた官民一体の取組が始まりました。



"CIRCLE WIND 2011" 一絆 -  
(東日本大震災3.11 慰霊モニュメント 1/4ファーストイメージモデル)  
2011. H:64×L:80×S:26cm イタリア大理石



"CIRCLE WIND"  
-PAX2000-

ローマ法王夏の離宮  
カステル・ガンドルフォ  
永久設置(バチカン)  
Permanent installation at  
the Pope's Summer Imperial villa,  
Castelgandolfo, Vatican



"CIRCLE WIND"  
-PAX2001-

仙台国際センター  
永久設置(日本)  
Permanent installation at  
Sendai International Center,  
Sendai, Japan



"CIRCLE WIND"  
-PAX2005-

ブッダガヤ・マハボディ寺院  
(世界遺産)永久設置(インド)  
Permanent installation at  
Mahabodhi Temple  
(The World Heritage),  
Buddha Gaya, India



"CIRCLE WIND"  
-PAX2008-

「聖なる煙」  
デビルズタワー-国立自然公園内  
永久設置(アメリカ)  
- Circle of Sacred Smoke -  
Permanent installation at the  
Devils Tower (First National Monument),  
Wyoming, U.S.A.



"CIRCLE WIND"  
-PAX2011-  
FOR ALL VICTIMS OF 9.11th

[NY.9.11慰霊モニュメント]  
ニューヨーク ジャパン・ソサエティー  
プレビュー展示(アメリカ)  
Preview Exhibition at  
Japan Society, NY, U.S.A.

画家・彫刻家

武藤 順九

(むとう じゅんきゅう)



<http://www.junkyu.jp/>

略 歴

- 1950年 仙台市に生まれる
- 1973年 東京藝術大学美術学部卒業後フランス、スペイン滞在
- 1975年 イタリア・ローマにアトリエを構え、現在に至る
- 1976年 ローマ国際オスカー展出品、絵画の部オスカー受賞
- 1978年 ローマ国際アーティスト展銀賞受賞
- 1997年 ヴェルシリア賞1997年度グランプリ受賞(彫刻、絵画)(イタリア)  
同受賞展・PAX2000 世界巡回展開始(イタリア)
- 2000年 「風の環-PAX2000-」 カステル・ガンドルフォのローマ法王公邸内に歴史上初の抽象彫刻永久設置(バチカン)
- 2001年 「風の環-PAX2001-」 仙台国際センター永久設置(仙台市)
- 2002年 「シリーズ『記憶の壁』PAX2001-光の誕生-」 バリ国連ユネスコ本部に永久設置(フランス)
- 2003年 「風の環-PAX2003-」 ピエトラサンタに永久設置(イタリア)
- 2006年 「風の環-PAX2005-」 仏教発祥の地ブッダガヤ《世界遺産》に永久設置(インド)
- 2007年 彫刻作品「飛翔」東北の玄関・仙台空港駅に永久設置(仙台市)
- 2008年 「風の環-PAX2008-」 ネイティブ・アメリカンの聖地デビルズタワーに永久設置(ワイオミング/アメリカ)
- 2009年 国際天文学連合が小惑星6098に対して武藤順九にちなんで Muto Junkyu 1991 UW3 と命名
- 2011年 「風の環-N.Y.9.11慰霊モニュメント-」 ジャパン・ソサエティーでプレビュー展示(ニューヨーク/アメリカ)
- 2012年 「光・水・風」国立京都国際会館庭園に21点の作品を展示(京都市)  
同オープニングにて「東日本大震災3.11慰霊モニュメント1/4ファーストイメージモデル」初披露
- 2013年 東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト発表(仙台市)
- 2014年 風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会 発足(京都市)

一般社団法人「風の環」

# 4

## 現地プロジェクトを支援すべく京都で発足

80 × 1030mm パネル

2014年2月 現地プロジェクトを支援すべく京都にて発足

### 「風の環 3.11絆プロジェクト」

KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

一人ひとりの思いを絆に

**「風の環 3.11 絆プロジェクト」は  
「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」の支援と、  
その思いを大きくひろげるためのプロジェクトです。**

2013年3月1日、仙台市において村井宮城県知事、亀山石巻市長その他多くの賛同者の方々の出席のもと、官民一体のプロジェクトとして、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」が立ち上がりました。

その折、仙台市出身の世界的に活躍する彫刻家・画家で「みやぎ絆大使」でもある武藤順九氏が、モニュメント製作を正式に依頼されることとなりました。

現在、国、宮城県、石巻市など各行政間の話し合いの中で、国内最大の被災地である石巻市に「震災復興祈念公園」が整備されることとなり、2020年の完成を目指して進行しています。

それを受け、武藤順九氏の世界で展開される「風の環プロジェクト」を支援してきた一般社団法人「風の環」は、氏の日本における芸術活動の拠点、京都において、賛同して下さる国内外の多くの方々とともに、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」を支援し、さらに、その思いを大きくひろげるべく、「風の環 3.11絆プロジェクト」を立ち上げ、光・水・風実行委員会を前身とした新たな実行委員会が発足しました。

このような経緯の中、「京都マラソン2014」において、当プロジェクトの支援を全国に先がけ呼びかけて下さることとなりました。

つきましては、人々の鎮魂と追悼の思い、そして世界中から寄せられた愛を、モニュメントとともに後世に伝えることができますよう、現地宮城県における「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」との連帯のもと、全国に向けて多くの方々のご賛同、ご支援をお願いしていきたく思います。

風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会  
発起人代表／実行委員長 尾池 和夫

後援：一般社団法人「風の環」  
協力：ガトーフェスタハラダ  
協力：三菱電機株式会社  
協力：椋山女学園大学 栃窪研究室

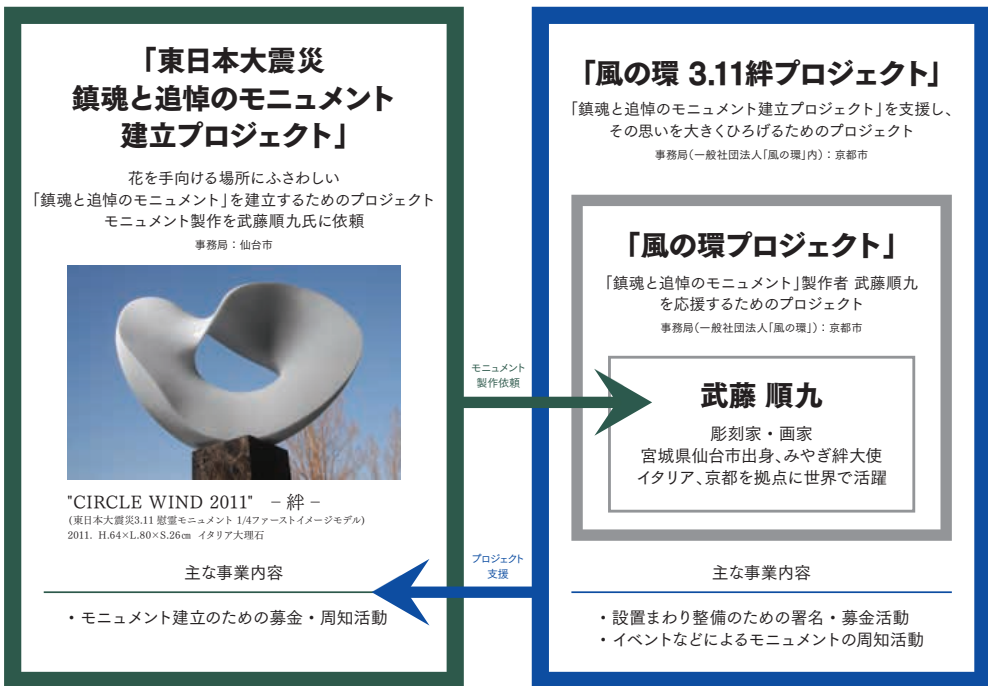
B1 (728 × 1030mm) パネル

# 5 官民一体でモニュメント建立実現に向けて

80 × 1030mm パネル

思いを大きくひろげ、官民一体でモニュメント建立の実現を!!

## プロジェクト概要 PROJECT OUTLINE

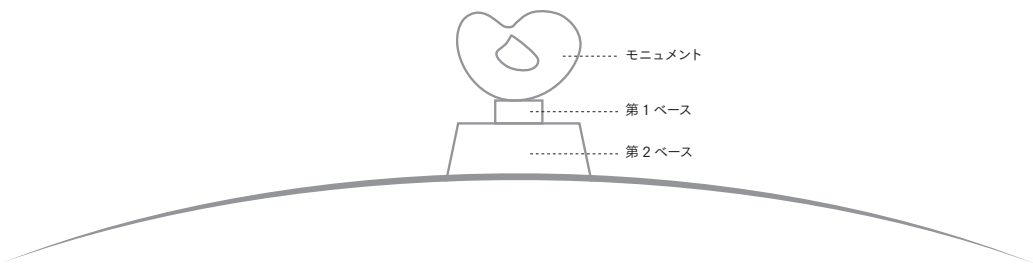


**寄付金**

しかるべき公共団体へ

人々が追悼の気持ちを表すために集まる場所となり、震災の記憶を後世に伝え、未来へ向かう希望の象徴

### 東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント



B1 (728 × 1030mm) パネル

# 風の環 3.11絆プロジェクト

KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

## 実行委員会役員／発起人一覧

発起人代表／実行委員長

尾池 和夫 京都大学 前総長／京都造形芸術大学 学長

発起人／副実行委員長

小幡 銀伸 名古屋東部陸運株式会社 代表取締役会長

発起人／副実行委員長

船井 勝仁 株式会社船井本社 代表取締役社長

発起人／事務局長

川端 雅彦 アイネックス税理士法人 代表

発起人

浅利 美鈴 京都大学環境安全保健機構 助教

岩崎 智美 学校法人岩崎学園 園長

大谷 祥子 財団法人本願寺維持財団 参議／箏曲家(十三絃・二十絃・三弦奏者)

門川 大作 京都市長

川名 卓夫 NPO法人プラスワンネットワーク 代表

木村 英輝 絵描き

隈 研吾 東京大学工学部 教授／建築家

兎玉 實英 同志社女子大学 名誉教授 元学長

さだ まさし 株式会社まさし／歌手

柴原 薫 南木曾木材産業株式会社 代表取締役

下津浦 康裕 下津浦内科医院 院長／日本バイ・デジタル0-リングテスト協会 副会長

白洲 信哉 月刊「目の眼」編集長

塚原 光男 公益財団法人日本オリンピック委員会 総監督

寺門 邦次 元JAXA 宇宙環境利用推進部長

中川 くにご 日本イタリア協会 理事長

中谷 庄吉 中谷興運株式会社 代表取締役社長

中村 時蔵 歌舞伎役者

原田 義人 株式会社原田 代表取締役社長

藤田 修作 株式会社花政 代表取締役

水谷 修 株式会社水谷青少年問題研究所 所長

溝畑 宏 内閣官房参与／元観光庁長官

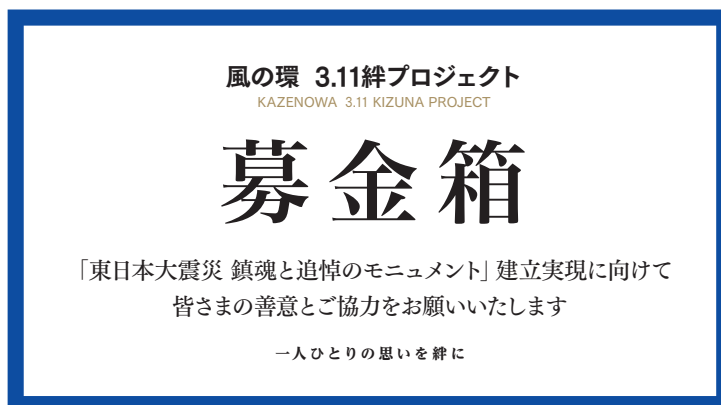
武藤 順九 彫刻家・画家

元島 栖二 株式会社CMC総合研究所 代表取締役／工学博士

湯川 れい子 オフィスレインボウ／音楽評論家／作詞家

渡辺 信英 東北福祉大学 学長補佐

(敬称略・五十音順)



募金箱差し込み用タイトル  
180 × 100mm IJ プリント 1枚



段ボール製簡易募金箱用タイトル  
200 × 200mm IJ プリント 3枚

## ■「鎮魂と追悼のモニュメント展示」コーナー 募金・署名活動用制作物

募金およびサポーターとしてご支援いただき、署名をいただいた方のお名前とご住所を、マイクロチップなどの記録メディアにデジタルデータとして保存し、マスターメディアをタイムカプセルに納め、モニュメント建立時に台座に埋め込みます。また、複製データをしかるべき行政機関へと譲渡し、いつでも開示閲覧可能なシステムを構築できるよう、働きかけます。

当プロジェクトの趣旨にご賛同いただき  
募金およびサポーターとしてご支援をいただいた方は  
ぜひご署名もお願いいたします

### 風の環 3.11絆プロジェクト

KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

ご支援<sup>あかし</sup>いただいた証を  
モニュメントとともに後世に残します

一人ひとりの「思い」を束ねて、深い悲しみを大きく包みこめる「愛」へ。

東北の皆さまへ向けた「思い」を、あなたのお名前を刻むことで  
モニュメントとともに伝えませんか？

ご署名いただいた皆さまのお名前とご住所を  
マイクロチップに記録し、タイムカプセルに納め、  
モニュメントの台座に武藤順九氏が責任を持って埋め込みます。  
また、しかるべき行政機関へと譲渡し、  
いつでも開示可能なシステムを構築できるよう働きかけます。

※いただいた個人情報は、モニュメント設置付帯事業、当方からのご連絡以外には使用いたしません。

一人ひとりの思いを絆に

進捗情報をご希望の方は、  
ご署名いただいたお名前、出身地を下記アドレス宛に  
ご連絡ください。



kazenowa.project@gmail.com

※いただいた個人情報は、モニュメント設置付帯事業、  
当方からご連絡以外には使用いたしません。

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

一人ひとりの思いを絆に

メールアドレス入力用 QR コード  
A4 (210 × 297mm) IJ プリント 5 枚

【会場：京都マラソン2014 2月 日 NO. 】

**ご支援いただいた証をモニュメントとともに後世に残します**

ご署名いただいた皆さまの、お名前とご住所をマイクロチップ化し、  
タイムカプセルに納め、モニュメントの台座に埋め込みます。  
プロジェクト情報の受け取りをご希望される方は、メールアドレスをご記入ください。  
※いただいた個人情報は、モニュメント設置付帯事業、当方からご連絡以外には使用いたしません。

お名前 (ふりがな)	ご住所 (郵便番号、はし市までは必須)	メールアドレス
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	

風の環 3.11絆プロジェクト

署名用紙  
A4 (210 × 297mm)



■ 「鎮魂と追悼のモニュメント展示」コーナー 募金・署名活動用制作物

宮城県出身、イタリアと京都を拠点に活動する世界的彫刻家  
**武藤順九と「風の環プロジェクト」**  
The World of Junkyu Muto



'CIRCLE WIND' -PAX2000- (東京国立近代美術館)  
'CIRCLE WIND' -PAX2001- (東京国立近代美術館)  
'CIRCLE WIND' -PAX2005- (東京国立近代美術館)  
'CIRCLE WIND' -PAX2008- (東京国立近代美術館)

大自然の営為が造りだした大理石と向きあい、独自の境地を切り拓く彫刻家の武藤順九。ローマ近郊のアトリエ、トスカーナ州ピエトラサンタ、そして近年は京都にも拠点を置いて、世界平和と人類の共生を希求し、大理石彫刻「風の環」シリーズの創作と発表を通じて「いのちの尊さ」を訴え続けています。その営みは、パチカン、インド・ブダガマ、アメリカ・デビルズタワーなど世界有数の聖地に作品が永久設置されるという成果に結実し、日本でも各地で多くの感動を誘い、共感の環をひろげて、人間愛に根ざした世界平和への意義をアピールしてきました。近い将来、ニューヨーク9.11慰霊モニュメントとして設置予定の大理石作品は、すでに2011年9月、ニューヨーク市のジャパン・ソサエティーでプレ展示を果たし、大きな反響を呼びました。

2012年、国立京都国際会館・庭園に21点の作品を展示した際、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」から、3.11東日本大震災の慰霊モニュメント製作の依頼を受け、被災地でのしるべき場所への設置計画に向けた官民一体の取組が始まりました。

<http://www.junkyu.jp/>

画家・彫刻家  
**武藤 順九**  
(むとう じゅんきゅう)



**経 歴**

- 1956年 仙台市に生まれる
- 1973年 東京藝術大学芸術学部フランス・スペイン専攻
- 1975年 イタリア・ローマでアパリエを専攻し、専攻に修了
- 1976年 ローマ・ラファエッラ・アカデミア・カポディチッチョにて「アカデミア」を卒業
- 1978年 ローマ・ラファエッラ・アカデミア・カポディチッチョにて「アカデミア」を卒業
- 1980年 フランスの芸術家「ジャン・コクトウ」の彫刻家「ジャン・コクトウ」の彫刻家として活動
- 1980年 作家「PAX2000」(世界平和を模索する)を設立
- 2001年 「風の環」-PAX2001- (東京国立近代美術館)を設立
- 2002年 「風の環」-PAX2001- (東京国立近代美術館)を設立
- 2003年 「風の環」-PAX2005- (東京国立近代美術館)を設立
- 2004年 「風の環」-PAX2005- (東京国立近代美術館)を設立
- 2005年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2006年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2007年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2008年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2009年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2010年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2011年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2012年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2013年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立
- 2014年 「風の環」-PAX2008- (東京国立近代美術館)を設立

一般社団法人「風の環」

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

実行委員会役員／発起人一覧

発起人代表／実行委員長  
**尾池 和夫** 京都大学 前院長／京都造形芸術大学 学長


発起人／副実行委員長  
**小橋 敏伸** 名古屋東部陸運株式会社 代表取締役会長

発起人／副実行委員長  
**船井 勝仁** 株式会社船井本社 代表取締役社長

発起人／事務局長  
**川端 雅彦** アイネックス税理士法人 代表


発起人  
 浅利 美鈴 京都大学環境安全設備機構 助教  
 若崎 智美 学校法人石崎学園 園長  
 財団法人本願寺難持財団 参謀/専攻官(〒210-0204 三浦市)  
 京都市長  
 門川 大作 NPO法人プラスワンネットワーク 代表  
 川辺 浩夫 絵師  
 木村 英輝 東京大学工学部 教授/建築家  
 関 晋吾 同志社女子大学 名誉教授 元学長  
 見玉 實美 さだ まさし 株式会社まさし/歌手  
 柴原 薫 南木管木材産業株式会社 代表取締役  
 下津浦 康徳 下津浦内科医院 院長/日本ハイ・ディジタル・リングネット協会 会長  
 白洲 信哉 月刊「日本の編集」 編集者  
 塚原 光男 公益財団法人日本オリンピック委員会 総監督  
 寺門 邦次 元JAXA 宇宙環境利用推進部長  
 中川 くにこ 日本イタリア協会 理事  
 中谷 庄吉 中谷製菓株式会社 代表取締役社長  
 中村 時蔵 歌舞伎役者  
 原田 義人 株式会社原田 代表取締役社長  
 藤田 修作 株式会社花政 代表取締役  
 水谷 修 株式会社水谷青少年問題研究所 所長  
 高畑 宏 内閣府参事/元観光庁長官  
 武藤 順九 彫刻家・画家  
 元島 橋二 株式会社CMC総合研究所 代表取締役/工学博士  
 遠川 れい子 オフスレインボウ/音楽評論家/作家  
 渡辺 信英 東北福祉大学 学長補佐  
 (敬称略・五十音順)

後援：一般社団法人「風の環」



**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

一人ひとりの思いを絆に



'CIRCLE WIND 2011' 絆 -  
(東日本大震災3.11 慰霊モニュメント 1/4ファーストイメージ制作)  
2011. 11.04 14.80×5.30cm イタリア大理石

「風の環 3.11絆プロジェクト」は  
「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」の支援と、  
その思いを大きくひろげるためのプロジェクトです。

2013年3月 宮城県で立ち上がった官民一体のプロジェクト  
**「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント 建立プロジェクト」**  
未来への希望の象徴としてのモニュメントを

東日本大震災から早2年が過ぎようとしています。未曾有の大災害に襲われた被災地では、様々な課題と問題を内包しながらも国を挙げた復旧、そして復興へと大きな力が注がれ続けていると日々、実感しております。しかし、復興の発表によれば全国の避難者等の数は約32万1千人、宮城県では11万2千人の方がまだ仮設住宅などでの生活を余儀なくされ、福島原発事故による県外への避難生活を強いられる方も数多くおられます。

そうした現実の中、官民が協力しながら被災地の生活基盤を取り戻そうとインフラ事業に手を尽くしているだけで、今、私たちが取り組もうとしているのは、人々の「こころ」と「暮らし」に焦点をあてた「鎮魂と追悼のモニュメント」の建立です。

畏った近親者への「鎮魂と追悼」の振り所として、すべての人が訪れて手を合わせ祈りを捧げ、哀悼の思いを積み上げていける場所として、「鎮魂と追悼のモニュメント」を建立することは、災害の風化を防ぎ、未来へ向かっていくための希望の象徴となることを確信しております。


「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント」製作と完成後の展開

モニュメントの製作は、世界有数の聖地に作品を永久設置してきた数々の実績を持ち、宮城県出身で「みやぎ絆大使」でもある世界的な彫刻家の武藤順九氏に依頼します。

完成後は宮城県庁のエントランスなど一時的に設置し(予定)、将来的に震災の資料館や慰霊公園、メモリアルパークなどが建設された場合には、宮城県や石巻市などの行政機関へと管理を委譲できるように前提で運営を行ってきたいと考えております。

(2013年プロジェクト設立時、現地パブリックより抜粋)

2012年3月 国立京都国際会館でのモニュメント発表



「東日本大震災3.11慰霊モニュメント準備委員会(現「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」)から、京都市の国立京都国際会館にて、武藤順九氏がモニュメントの製作を正式に依頼されました。

鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト 実行委員会 事務局長(現「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」)から、京都市の国立京都国際会館にて、武藤順九氏がモニュメントの製作を正式に依頼されました。

GOPJ国際警察官311絆プロジェクト「水・風・土・絆」実行委員会の第一回「復興の心算」(平成24年12月)で、国立京都国際会館にて「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント」の製作を正式に依頼されました。実行委員会は、水・風・土・絆プロジェクトの推進を、この機会に広げたいと考えています。

2014年2月 現地プロジェクトを支援すべく京都にて発足  
**「風の環 3.11絆プロジェクト」**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

一人ひとりの思いを絆に

2013年3月1日、仙台市において村井宮城県知事、亀山石巻市長その他多くの賛同者の方々の出席のもと、官民一体のプロジェクトとして、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」が立ち上がりました。

その折、仙台市出身の世界的に活躍する彫刻家・画家で「みやぎ絆大使」でもある武藤順九氏から、モニュメント製作を正式に依頼されることとなりました。

現在、国、宮城県、石巻市と各行政間の話し合いの中で、国内最大の被災地である石巻市に「震災復興祈念公園」が整備されることとなり、2020年の完成を目指して進めています。

それを受け、武藤順九氏の世界で展開される「風の環プロジェクト」を支援してきた一般社団法人「風の環」は、氏の日本における芸術活動の拠点、京都において、賛同して下さる国内外の多くの方々とともに、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」を支援し、さらに、その思いを大きくひろげるべく、「風の環 3.11絆プロジェクト」を立ち上げ、光・水・風実行委員会を前身とした新たな実行委員会が発足しました。

このような経緯の中、「京都マラソン2014」において、当プロジェクトの支援を全国に先駆け呼びかけて下さることとなりました。

つきましては、人々の鎮魂と追悼の思い、そして世界中から寄せられた愛を、モニュメントとともに後世に伝えることができますよう、現地宮城県における「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」との連帯のもと、全国に向けて多くの皆様のご賛同、ご支援をお願いしていきたいと思っております。

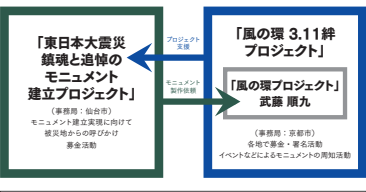
風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会  
発起人代表／実行委員長 尾池 和夫

皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

「風の環 3.11絆プロジェクト」は、その目的を実現するために、各種イベントや募金活動を行うことを予定しています。つきましては、今後取り組む様々なイベントをサポートしていただける方を募集しております。また、これに先立ち、募金についてもご協力いただければ幸いです。この募金は、モニュメント及び設置付帯事業として、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」とともに、しるべき公共団体へ寄贈します。ロングランになりますので、各サポーターの方々には、年1万円を目安にご支援いただき、運賃の一部とさせていただきます。この趣意をご理解いただき、右記の口座へお振込みいただければ幸いです。

思いを大きくひろげ、官民一体でモニュメント建立の実現を!!

**プロジェクト概要**  
PROJECT OUTLINE



**寄付金**  
しるべき公共団体へ

人々が追悼の気持ちを表すために集まる場所となり、震災の記憶を後世に伝え、未来へ向かう希望の象徴  
**東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント**

- 振込口座 京都銀行 本店 普通預金 5130763
- 口座名 風の環 3.11 絆プロジェクト 事務局 川端 雅彦

風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会  
事務局(一般社団法人「風の環」内)  
住所: 〒603-8175 京都市北区紫野下田町42  
TEL & FAX: 075-494-2063  
E-Mail: kazenowa.project@gmail.com

■「風の環 3.11絆プロジェクト」コーナー用パネル

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

一人ひとりの思いを絆に

「風の環 3.11絆プロジェクト」は  
「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」の支援と、  
その思いを大きくひろげるためのプロジェクトです。

2013年3月1日、仙台市において村井宮城県知事、亀山石巻市長その他多くの賛同者の方々の出席のもと、官民一体のプロジェクトとして、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」が立ち上がりました。

その折、仙台市出身の世界的に活躍する彫刻家・画家で「みやぎ絆大使」でもある武藤順九氏が、モニュメント製作を正式に依頼されることとなりました。

現在、国、宮城県、石巻市など各行政間の話し合いの中で、国内最大の被災地である石巻市に「震災復興祈念公園」が整備されることとなり、2020年の完成を目指して進行しています。

それを受け、武藤順九氏の世界で展開される「風の環プロジェクト」を支援してきた一般社団法人「風の環」は、氏の日本における芸術活動の拠点、京都において、賛同して下さる国内外の多くの方々とともに、「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」を支援し、さらに、その思いを大きくひろげべく、「風の環 3.11絆プロジェクト」を立ち上げ、光・水・風実行委員会を前身とした新たな実行委員会が発足しました。

このような経緯中、「京都マラソン2014」において、当プロジェクトの支援を全国に先駆け呼びかけて下さることとなりました。

つきましては、人々の鎮魂と追悼の思い、そして世界中から寄せられた愛を、モニュメントとともに後世に伝えることができますよう、現地宮城県における「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」との連携のもと、全国に向けて多くの方々のご賛同、ご支援をお願いしてまいります。

風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会  
発起人代表/実行委員長 尾池 和夫

後援：一般社団法人「風の環」  
協力：ガトーフェスタハラダ  
協力：三菱電機株式会社  
協力：相山女子園大学 術彦研究室

【趣意書】B1 (728 × 1030mm) パネル

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

「風の環 3.11絆プロジェクト」に賛同して下さっている皆さまと



【賛同者写真ボード】B1 (728 × 1030mm) パネル

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

メッセージボード

【メッセージボード】B1 (728 × 1030mm) パネル

**風の環 3.11絆プロジェクト**  
KAZENOWA 3.11 KIZUNA PROJECT

**サポーター募集  
一口1万円**

武藤順九コラボレーション サポーターアイテム  
**武藤順九 陶板画**

会場で、当プロジェクトの活動資金を  
ご支援いただいた方には、  
サポーターアイテムを進呈いたします。

寄付金は「鎮魂と追悼のモニュメント」設置までの期間、  
モニュメント設置 付帯事業運営の一助とさせていただきます。  
必要経費を除いた残額は、  
「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」とともに、  
しかるべき公共団体へ寄贈します。  
この趣旨をご理解いただけますと幸いです。

企画・後援：一般社団法人「風の環」


【サポーター募集用サイン】B1 (728 × 1030mm) パネル

■「風の環 3.11絆プロジェクト」活動アイテム



【スタッフブルゾン】背面1色シルクプリント  
XL15着/XXL15着/着用者に3,000円で販売

## 風の環 3.11絆プロジェクト



「京都マラソン2014 おこしやす広場」における取組参考資料

**※資料について**  
 当プロジェクトは、通常出版とは異なる位置づけにあります。  
 本資料は、「京都マラソン2014 おこしやす広場」におけるの出展者向けマニュアルから、当プロジェクトの活動において必要と思われる情報を抜粋し、追記した物になります。その旨ご理解いただき、内容をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 2 京都マラソン2014 おこしやす広場 開催概要
- 3 風の環 3.11絆プロジェクト趣旨
- 4 東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト 概要
- 5 風の環 3.11絆プロジェクト活動概要
- 6 武藤勇九氏と「風の環」プロジェクト
- 7 風の環 3.11絆プロジェクト おこしやす広場での取組
- 8 会場アクセス
- 9 会場構成（全体）
- 10 会場構成（1F）
- 11 会場構成（3F）
- 12 モニュメント展示計画
- 13 展示レイアウト
- 14 会場施設・会場周辺施設
- 15 会場周辺駐車場
- 16 展示装飾・設計運営計画についての注意事項
- 17 風の環 3.11絆プロジェクト 活動スケジュール
- 18 入場証について
- 19 搬入・搬出について
- 22 おこしやす広場開催時の規制
- 23 連絡網

後援：一般社団法人「風の環」  
 協力：ガトーフェスタハラダ  
 協力：三菱電機株式会社  
 協力：南山女子園大学 極限研究室

更新：140209  
 作成：一般社団法人「風の環」

【活動マニュアル（23ページ）】  
 PDFファイルにてボランティアスタッフに配布

2014年2月24日/河北新報

# 追悼の思いを彫刻に

## 京都でミニユメントモデル作品展示

### 仙台出身 武藤さん 実物被災地設置へ



震災犠牲者を追悼するミニユメントのモデル作品と、制作した武藤さん左。京都府左京区

仙台市出身でイタリア在住の彫刻家武藤順九さんが制作中の東日本大震災の犠牲者を追悼するミニユメントのモデル作品がこのほど、京都市内で公開、展示された。作品は「風の環」をテーマにイタリア大理石を使った彫刻作品の一つ



「CIRCLE WIN D 2011」。高さ64センチ、幅80センチ、奥行き26センチで、実物の4分の1の大きさ。世界中から被災地に寄せられた思い、力強さ、命などを表現したと

会場では全国のランナーら、作品の制作プロジェクトへ賛同する約900人分の署名と寄付金も集まった。実物は被災地に整備される追悼施設に設置する方向で計画が進んでいる。

作品の公開は、京都市で開かれた「京都マラソン2014」を前に14、15の両日、同市左京区の広場であり、武藤さんも被災地支援を呼び掛けた。武藤さんは「震災の記憶と被災者の思いを未来につなげたい」と語った。

## ■ 京都マラソン2014 での取組を終えて

多くの発起人の皆さまのご尽力と、一般社団法人「風の環」の後援、そして、岩手・宮城・福島・三県人会さまのご協力のもと、京都市の全面的なご支援で、「京都マラソン2014 ランナー受付会場」に於いて、「風の環 3.11絆プロジェクト」初めての取組が実現いたしました。深く御礼申し上げます。

小雪がちらつく寒い中、ボランティアの皆さまが京都のみならず、富山、広島、東京、仙台からも駆けつけてくださいました。

初日の14日は、初めての活動ということもあり、募金箱が活躍する場面も少なかったのですが、15日には、会場に押しかけるランナーの皆さまを、手招きしながら特設ブースに誘導し、寄付を募るという流れを作り出すことができ、たくさんの心ある募金を頂戴することができました。同時に、900名を超える募金を頂いた皆さまに、ご記帳いただくことができ、後々の大きな財産ができたと思います。

また、14日には、実行委員長の尾池和夫先生、清水寺貫主森清範氏、門川京都市長、そして、モニュメント制作者の武藤順九氏による「復興に向けて、いまできること」と題したテーマでオアネルディスカッションが行われました。当事者意識を持って日本に生きるすべての人達が、東日本の被災者の方々の支援をすることを通じて「絆」を作り出すことの大切さを、改めて認識いたしました。

今回の活動は、京都マラソン2014のメインテーマのひとつ、「東日本大震災復興支援」という背景があったため、一定の成果を得ることができました。2020年に予定されている震災復興祈念公園が完成するまでの期間、京都市からは継続してご支援いただけることが決まりました。今回は、5年近くにわたるロングランの初めの第一歩であり、今後も継続して様々な取組をしていく予定ですので、引き続き多くの関係者の皆さまにご支援いただきたく存じます。

最後になりましたが、多くのご支援をいただきました、ガトーフェスタ ハラダさま、映像機器をご提供いただきました三菱電機株式会社さま、映像コンテンツをご提供いただきました椋山女学園大学 柘窪研究室の皆さま、大雪の中モニュメントの搬出を敢行して下さった株式会社凛の皆さま、お忙しい中ご協力いただきましたボランティアの皆さま、宮城から駆けつけてくださいました「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」実行委員長 峯岸良愷さま、後藤宗徳さま、そしてご来場くださいました多くの皆さまに、深く感謝し、御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

風の環 3.11絆プロジェクト 事務局長 川端雅彦

